

KIRISHIMA TREKKING MAP

霧島トレッキングマップ



霧島は「日本ジオパーク」に認定されています

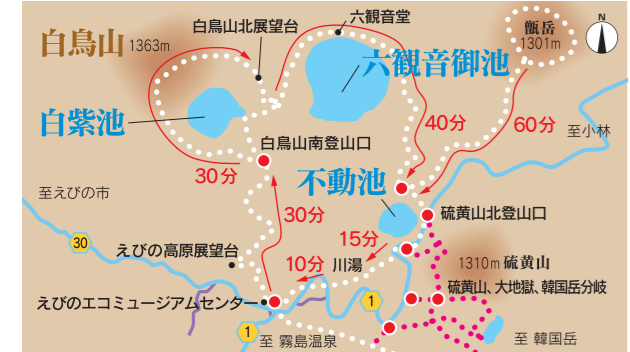


池巡り自然探勝路

白鳥山 (1363m) 甑岳 (1301m)

えびのエコミュージアムセンター近く登山口から、時計回りに三つの火口湖(白紫池・六観音御池・不動池)を巡る池巡りコースは、白鳥山山頂近くで急な勾配がありますが、それぞれの火口湖の表情を楽しみながら、約2時間で一周できるトレッキングコースです。白鳥山の山頂部には直径約600mの浅い火口があり、南には桜島が見える展望が開け、韓国岳の山容もまじかに見ることが出来ます。初夏の新緑やミヤマキリシマ、秋には紅葉が楽しめる、生育する植物も多様です。

不動池北側の分岐から片道約60分の甑岳登山もできます。甑岳の火口内にはススキの草原が広がり、中央部は南九州ではめずらしい低層湿原となっており、食虫植物のモウセンゴケが観察できます。頂上からは急勾配で狭い登山道となりますので、迷わないように気を付ける必要があります。



栗野岳 (1102m)

栗野岳は、霧島山の中でも初期にできた古い火山とされています。野外美術館「霧島アート」の森「約200m先に「日本一の枕木階段」があります。カシワの原生林、もみじ群生地を通り、山頂からは韓国岳や錦江湾に浮かぶ桜島など大パノラマが望めます。登山口は3カ所ありそれぞれの周遊ルートを楽しめます。

Information

霧島連山周遊バス路線図・時刻表



丸尾⇄えびの高原⇄高千穂河原			
丸尾 発	8:30 10:30 12:30	高千穂河原 15:30	
丸尾 着	8:35 10:35 12:35	湯之野温泉 15:42	
丸尾 発	8:35 10:35 12:35	新湯温泉 15:46	
丸尾 着	8:38 10:38 12:38	新湯温泉 15:47	
新湯温泉 発	8:45 10:45 12:45	新湯温泉 15:48	
新湯温泉 着	8:46 10:46 12:46	新湯温泉 15:49	
大浪池登山口 発	8:50 10:50 12:50	大浪池登山口 15:53	
大浪池登山口 着	8:53 10:53 12:53	新湯温泉 15:56	
つづじヶ丘 発	8:55 10:55 12:55	つづじヶ丘 15:58	
えびの高原(東) 発	8:56 10:56 12:56	えびの高原(東) 15:59	
えびの高原(西) 発	9:00 11:00 13:00	えびの高原(西) 16:00	
つづじヶ丘 着	9:01 11:01 13:01	つづじヶ丘 16:01	
新湯温泉 発	9:03 11:03 13:03	新湯温泉 16:03	
大浪池登山口 発	9:06 11:06 13:06	大浪池登山口 16:06	
新湯温泉 着	9:10 11:10 13:10	新湯温泉 16:10	
新湯温泉 発	9:11 11:11 13:11	新湯温泉 16:11	
湯之野温泉 発	9:12 11:12 13:12	湯之野温泉 16:18	
新湯温泉 着	9:13 11:13 13:13	丸尾温泉 16:21	
湯之野温泉 発	9:17 11:17 13:17	丸尾温泉 16:25	
高千穂河原 発	9:29 11:29 13:29	丸尾 着	16:26

快適なトレッキングのために

- ～心構え・マナー編～
 - 登山道は事前に状況確認を行い、ゆとりのある計画をたてましょう。
 - トイレは登山口ですませ、山の中では携帯トイレを使いましょう。
 - 自分たちが出したゴミは必ず持ち帰りましょう。
 - 登山中は禁煙です。
 - 登山道では登ってくる人に道を譲りましょう。
 - 安全のため、登山道からははずれないでください。
 - 登山道の浸食を軽減するため、ストックの先端にはキャップをつけましょう。
 - 自然のものは自然のままに、花を摘んだり、動物を捕まえたりしないようにしましょう。また、鹿に餌を与えたりしないように。
- ～服装・持ち物編～
 - 動きやすい服装を心がけ、ザックの中には食糧・警笛・懐中電灯・地形図・コンパス・携帯電話・ラジオ・携帯トイレ等を入れておきましょう。
 - 山の天候は変わりやすく、朝晩は冷え込むこともありますので、雨具や防寒具は必ず準備しましょう。

霧島連山自然保護協議会

～登山者の皆様へ～ 登山をするにあたっての注意事項

霧島山は現在も活動が続いている活火山です。立入禁止(規制)区域を設定していますので必ず守ってください。立入禁止(規制)を行っていない区域でも、火山災害時の危険があることをご承知いただき、登山する場合は下記の注意事項を守ってください。

注意事項

- 登山は自己責任が原則です。
- ラジオ・携帯電話・コンパス等を携行し、随時風向、天候等の情報を収集するようにしましょう。
- 地震や地鳴り、鳴動等の異常を感じたときは、慌てず速やかに下山してください。
- 下記の情報欄等も必ずお読みください。
- 入山前には登山届を出しましょう。
- ヘルメットを携行し登山するようにしましょう。

利用できる登山道

- 入山規制中の登山道
- 国道
- 市・町道
- 県道
- 高速
- 携帯トイレ販売所
- 携帯トイレ回収BOX
- 携帯トイレブース
- モーターサイレン
- 避難壕

持っていこう。持って帰ろう。携帯トイレを利用しましょう!

登山者による排泄物の処理が深刻な問題となっています。自然の分解力を超える量の排泄物が放置されることは山の環境に悪影響であるばかりか、他の登山者へ不快感を与えます。また、登山道から離れた茂みに入ることや貴重な植物を踏みついたり、遭難の危険もあります。

携帯トイレを使用することで、霧島の美しい自然を守ることが出来ます。登山者のマナーとして、あとに訪れる登山者への思いやりとして、ご協力をお願いします。

地図上で事前に場所をチェックしておきましょう!

- 携帯トイレ販売所
- 携帯トイレ回収BOX
- 携帯トイレブース

携帯トイレ使用の際の注意事項

- 使用後のトイレは自宅へ持ち帰り燃えるゴミとして処分するか、登山口の「携帯トイレ回収ボックス」へ入れましょう。
- 使用済みのティッシュなども必ず一緒に持ち帰ってください。



霧島山麓湧水町観光協会 (JR栗野駅舎内) TEL 0995-74-5690

霧島市観光協会 TEL 0995-78-2115

霧島市観光案内所 TEL 0995-57-1588

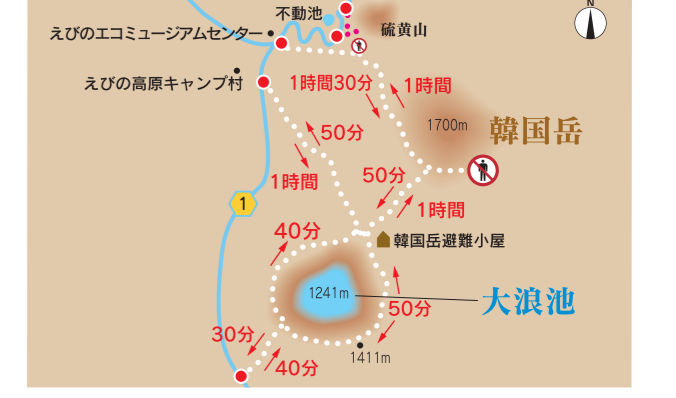
高千穂河原ビジターセンター TEL 0995-57-2505

※最新の登山情報を確認し登山してください。

大浪池 (1411m) 韓国岳 (1700m)

霧島山最高峰の韓国岳に登るルートはいくつかありますが、日本屈指の高所に位置する火口湖で、美しい景観を持つ大浪池をめぐって山頂に立つコースから登山する方が、変化に富んだトレッキングが楽しめます。

大浪池登山口から火口の縁まで40分ほど登り始めると、近くの岩場から、眼下に水をたたえた大浪池、その正面にどっしりとした韓国岳を望むことができます。韓国岳への道は大浪池をちょうど半周回り込んだ先に続いています。東回りでもほぼ距離は同じで、いずれかを登ると、別ルートを帰路にたどればよいでしょう。大浪池火口壁の最高点からいったん下り、遊覧小屋を終登、樹木がなくなると、やがて韓国岳の山頂に達します。



高千穂峰 (1574m)

天孫降臨の山として知られる霊峰・高千穂峰は、歴史といひ、山容といひ、霧島山の主峰の風格を十分に備えています。

登山口は、高千穂河原ビジターセンターから鳥居をくぐって、古宮址まで参道を歩いていき、古宮址で右折して研究路を上がっていくと御鉢・高千穂峰の登山道にたどりつきます。樹林を抜けると急な斜面が現れます。茶褐色の斜面を登りきると、御鉢の頂上で、馬の背と呼ばれる火口縁を左方向へ進みます。馬の背は幅が狭いので、強風や濃霧等の時は特に細心の注意を払う必要があります。

馬の背から背門丘(鞍部)に降りていくと高千穂峰山頂へ続く登山道へ向かいます。山頂にたどりつくと、天孫降臨伝説の天の逆針があります。登山口から高千穂峰山頂まで斜面が多く、滑りやすくなっていますので足元に注意を払い、また、落石等にも十分気を付けてください。



えびの岳 (1293m)

えびの高原の南側に目を向けたときに、小高い山のように見えるのがえびの岳です。韓国岳の登山道からえびの岳を眺めると、直径1kmほどの大きな火口をはっきりと見ることが出来ます。えびの岳の登山道は、火口の縁をなぞるように作られており、1時間ほど一周することができます。途中にある展望所からは北側にはえびの高原を、南側には桜島や錦江湾を一望でき、360°のパノラマを楽しむことができます。霧島山の中でも比較的古い火山であるため、深い森が発達しているのが特徴で、春には新緑、秋には美しい紅葉を楽しむことができます。

- 登山に関するお問い合わせ先
- (一財)自然公園財団 高千穂河原ビジターセンター 0995-57-2505
 - (一財)自然公園財団 えびのエコミュージアムセンター 0984-33-3002
 - (公社)霧島市観光協会 0995-78-2115
 - えびの市観光工課 0984-35-1111
 - えびの市観光協会 0984-35-3838
 - 霧島市観光案内所 0995-57-1588
 - 霧島市観光課 0995-45-5111
- 登山ガイドに関するお問い合わせ先
- 霧島市観光ガイド連絡協議会 0995-78-2115(霧島市観光協会内)

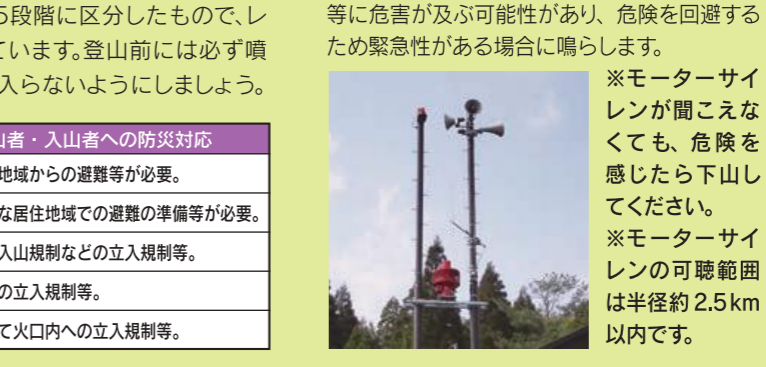
霧島山は活火山です。～安全に大自然を満喫するために～

宮崎県と鹿児島県にまたがる20余りの火山の総称である『霧島山』は、34万年前に大噴火した加久藤カルデラの南縁にあります。平成23年1月26日、新燃岳が約300年ぶりに激しく噴火し、現在もなお火山活動が続いています。トレッキングを安全に楽しむためにも、**新燃岳の活動状況や風向き等を事前にチェック**しておきましょう。

新燃岳の噴火警戒レベルをチェック!

『噴火警戒レベル』とは、噴火時の危険な範囲や必要な防災対応を5段階に区分したもので、レベルに応じての防災対応が関係市町・気象庁によって取り決められています。登山前には必ず噴火警戒レベルを確認し、立入りか規制されている場所へは絶対に立ち入らないようにしましょう。

予報・警報	対象範囲	レベル	登山者・入山者への防災対応
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	危険な居住地域からの避難等が必要。
噴火警報	火口周辺	レベル4 避難準備	警戒が必要な居住地域での避難の準備等が必要。
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	登山禁止や入山規制などの立入規制等。
噴火予報	火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺への立入規制等。
噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意	状況に応じて火口内への立入規制等。



モーターサイレン ～緊急時のサイレン吹鳴～

火山に関する災害情報(警報)を、新燃岳火口から5km以内の住民、観光客、宿泊施設等へ迅速かつ確実に伝達し、防災対応を的確に行うことにより、被害の発生を防止することを目的として、新燃岳周遊(霧島市側)に5基設置されています。

このモーターサイレンは、火山活動の活発化に伴う噴石、火砕流、火山泥流等により、住民等に危害が及ぶ可能性があり、危険を回避するため緊急性がある場合に鳴らします。

※モーターサイレンが聞こえなくても、危険を感じたら下山してください。

※モーターサイレンの可聴範囲は半径約2.5km以内です。